

ホームルーム活動（人権）学習指導案

令和7年 月 日（ ） 限目
ホームルーム 名
指導者

1 主 題 結婚について考える

2 主題設定の理由

（クラスの実態について省略）

これまでの人権学習ホームルーム活動で、「就職差別につながるとされる14項目」について考えることを通して、就職差別の不合理性について学び、人権尊重の大切さについて学んできた。婚姻可能な18歳という年齢に達する3年生にとって、近い将来に「結婚」という選択をする可能性もある。「結婚」に関して障壁となり得る様々な人権課題について知り、自分事として捉え主体的に考えを深めることで、互いの人権を尊重し合う態度を養いたいと考え、本主題を設定した。

3 ねらい

差別の不合理性を認識させ、偏見や差別のない社会の実現に向けて自分自身の問題として捉え考えさせることで、差別を見抜き、差別を許さずなくしていこうとする態度を養う。

4 指導計画

（1）これまでの学習

公正な採用選考をめざして・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

就職差別につながるとされる14項目について・・・・・・・・ 1時間

（2）本時の学習

結婚について考える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

（3）これからの学習

災害時における人権問題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

卒業するにあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

5 本時の学習

（1）目標

①結婚について多様な価値観があるが、結婚差別の背景にある不合理さについて理解させる。

②結婚差別の事例について考えさせることで、問題を自分事として捉え、差別を見抜き、差別を許さずなくしていこうとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ・・・法の下での平等、個人の尊重

個人人権課題名・・・・・・・・同和問題、性的マイノリティの人権

(3) 展開

時 間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
導 入 (5分)	○本時の学習内容を確認する。	○本時の目標を説明し、学習の方向付けをする。	
展 開 (40分)	○事前アンケートの結果を見て、意見交換をする。 ○「じんけん2023」 p.110- p.111のケース1、3を読み、当事者の気持ちや、何が問題なのかを考える。 ○自分が当事者の場合や関係者であった場合、それぞれどう思い、どうするのかをグループで話し合い、発表する。	○結婚には、多様な考え方があることに気付かせる。 ○ケース1、3を読み、背景にある人権課題に気付かせるとともに、差別の不合理性について考えさせる。 ○授業支援ツールを用いて、自分の意見をグループで共有させ、グループの意見をホームルームで共有させる。	○結婚差別の背景にある不合理性について理解することができたか。 (知識的側面)
まとめ (5分)	○本時の授業で考えたことや感じたことを授業支援ツールで入力する。	○他の人の意見と自分の意見との比較や、学習を通しての変容を書くように促す。	○結婚差別に関して、自分事として捉え、差別を見抜き、差別を許さない意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面)